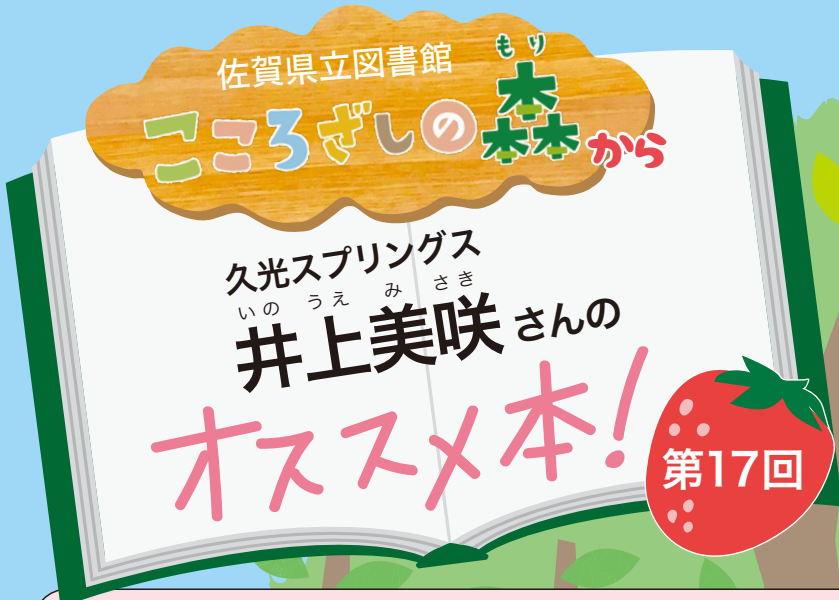


# 佐賀県

## みんなで読もう オススメ本



このコーナーでは、  
県内の著名人がおすすめする児童書の魅力を、  
直筆の推薦文とともに紹介します。



### 100万回生きたねこ

100万回もして、100万回も生きたねこが最後に本当の自分の幸せを見つける物語なのですが、100万回も生き返りを繰り返していても幸せを見つける事は大変なことなのかと思いました。私は100万回も生き返ることにはできないのでこの限られた私の人生を大切に生きて、本当の幸せを見つけることができる人生を生きていきたいと思いました。大人の私が読んででも何かじんときる1冊でした。



『100万回生きたねこ』  
作・絵/佐野 洋子  
講談社

100万年もしないねこがいました。100万回もして、100万回も生きたのです。りっぱなとらねこでした。100万人の人が、そのねこをかわいがり、100万人の人が、そのねこがしんだときなきました。ねこは、1回もなきませんでした。読むたびにちがう気持ちになる、りっぱなとらねこの、ふしぎな物語。

### さっちゃんとなっちゃん

さっちゃんとなっちゃんは好きなものやきらいなものなど正反対な性格だけれど、大の仲良しなのです。人はそれぞれ個性があって当たり前なのです。その個性をお互い認め合っているからずっと友達でいられるのだと思います。友達とけんかしてしまった...という人はぜひこの本を読んでほしいなと思いました。その友達のいろんな部分が好きになるとと思います。

『さっちゃんとなっちゃん』 作・絵/浜田 桂子 教育画劇

さっちゃんとなっちゃんはおとなりどうし。おまけにとしもおなじなの。ふたりはとってもなかよしだけど、でも、さっちゃんとなっちゃんはぜんぜんちがう。たべる朝ごはんも、ぐらぐらしてる歯のばしょも、みじくなるクレヨンの色も、なりたいたいものも。「なかよし」に「そっくり」なんていらんよ。「そっくり」じゃないってこんなに楽しい!!ともだちと「ちがう」のある楽しさ、「なかよし」のひけつがわかる絵本。

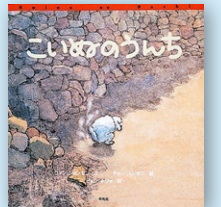


### こいぬのうんち

あるうんちがいたのですが、そのうんちは「ぼくは誰の役にも立てていない」と思っていたけれど、ある日肥料となり、誰かの役に立つことができたのです。私はこの本を読み生きていけばきっと誰かの役に立っていると思います。自分ばうんちだから...と思わず、自分らしく生きていけば必ず誰かを見ていてくれると思います。このうんちが最後には幸せだと思ってくれてとても嬉しく思いました。

『こいぬのうんち』

作/クオン・ジョンセン 絵/チョン・スングク  
訳/ピョン・キジャ 平凡社



ぼくは、なんのやくにもたたないのかなあ。すずめやつちくれ、にわとりおやこからもきたないものあつかいされるちっぽけなこいぬのうんち。存在価値が見出せず悲嘆にくれます。ひとりぼっちで冬が過ぎ、春が来る頃、芽吹いたたんぽぽと出合います。韓国で第1回キリスト教児童文学賞を受賞したベストセラー絵本です。

### 井上美咲さんってどんな人?

1994年生まれ。三重県出身のプロバレーボール選手で、鳥栖市をホームタウンに活躍する久光スプリングスで副主将を務めています。ポジションはセッターで、スパイクを打つ選手が打ちやすいようにトスをあげたり、瞬時にプレーを判断する司令塔の役割をしています。佐賀県のみんなにバレーボールを楽しんで観てもらえるように毎日練習をがんばっています。



佐賀県立図書館「ころざしの森」では、このコーナーで紹介した児童書と推薦文を展示しています!

